

小金井市公民館 主 催 事 業

少年教育事業

東 分 館

少年教育事業	ひがし子ども囲碁教室
--------	------------

目 的 市内の小学生を対象に、レベル別クラス編成指導で囲碁上達を目指します。また、囲碁を通してルールやマナーを学ぶことも目的とします。

日 程 4月2日から令和5年3月25日までの毎週土曜日
午前10時から正午まで 全42回
東センターまつり、東小学校の行事開催時、年末年始はお休み

場 所 公民館東分館 集会室A・B

講 師 小金井^{うろ}鷺の会

募集方法 市報3月1日号、月刊こうみんかん3月号、チラシ、ポスター、
市HP、東センターHP、東分館ツイッター
多数抽選 往復はがき

対 象 市内在住・在学の小学生の方

人 数 募集 10人 応募 14人 継続参加 14人
受講 28人（男性20人、女性8人） 延べ参加者 744人

担当職員 浅香 佳代子

担当職員感想 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もなく、1年を通して安定した運営を行うことができました。参加している子どもたちや、保護者の方からの感謝の声が、講師の先生方の励みになっています。囲碁を通して、地域の交流が生まれることに意味があると思います。

参加者感想 ○いごはとても楽しいです。しあいが楽しいです。6年生になってもつづけて、つよくなりたいです。
○毎週楽しみにしています。これからもよろしくお願いします。
○いつも温かく指導していただき、ありがとうございます。地域のみなさんの優しさが、子どもの心の中にたくさん届いています。いつも囲碁教室のあとはうれしそうにしています。そんな環境で、囲碁の力もどんどん伸びて、本当に素晴らしい先生方と公民館が用意して下さった場があるからだと思っています。（保護者感想）

緑 分 館

子ども体験講座	よく飛ぶ紙ひこうきの作り方、飛ばし方講座
---------	----------------------

目 的 紙ひこうきを作って飛ばすことを通して、飛行機が飛ぶ仕組み等の基礎科学に興味を持ってもらう。

日 程 令和4年7月3日（日） 午後2時から4時まで

内 容 紙ひこうきの作り方の指導と飛ばし方の実演

講 師 講師 牧野 莉央さん（東京農工大学 航空研究会）
補助指導員 芹澤 迅さん（東京農工大学 航空研究会）

場 所 公民館緑分館 学習室A・B・C

参 加 費 200円（材料費）

募集方法 市報6月15日号、月刊こうみんかん6月号、ポスター、チラシ、市HP、
公民館ツイッター
申込多数のときは抽選
往復はがき、またはメール

対 象 市内在住・在勤・在学の小学生とその保護者

人 数 募集 15人（当初定員は10人だったが、応募者多数のため講師と相談の上、15人に増員した）
応募 33人
受講 12人（男性8人、女性4人）

担当企画実行委員 大蔵 芳夫、岡本 達明

担当職員 山本 ひろみ

参加者感想 ○飛行機に興味をもてた上に、飛行機が飛んだため、次はモーターについて夏休みの自由研究の題材にしたいと思った。
○とても楽しかったです。とてもいい思い出になってくれてありがとうございます。
○よくとぶ紙ひこうきの作り方がしれてよかった。

緑 分 館

子ども体験講座

金属ってもある？～線香花火を作ろう！～

目 的 燃えるとはどういうことか実験をとおして学び、科学に興味を持ってもらう。

日 程 令和4年8月7日（日） 午前10時から正午まで

内 容 様々な金属を燃やす実験をとおして、燃えるということはどういうことかを学び、火薬の代わりに鉄粉を使って線香花火を作る。

講 師 坂口 美佳子さん（科学読物研究会）

場 所 公民館緑分館 学習室A・B・C

参 加 費 200円（材料費）

募集方法 市報7月1日号、月刊こうみんかん7月号、ポスター、チラシ、市HP、公民館ツイッター
申込多数のときは抽選
往復はがき、またはメール

対 象 市内在住・在勤・在学の小学生

人 数 募集 20人
応募 63人
受講 18人（男性10人、女性8人）

担当企画実行委員 大蔵 芳夫

担当職員 山本 ひろみ

担当職員感想 定員をはるかに超える申込があったが、コロナ禍で定員を通常より少なく設定せざるを得ず、受講できない方が多くいたのは残念だった。

参加者感想 ○はじめてしったことがたくさんあった。
○たのしくってきょうみをもった。
○金ぞくがもえるなんてびっくりしました。せんこうはなびが作れてよかったです。

緑 分 館

子ども体験講座	プロマジシャンが教える 親子で楽しむマジック教室
---------	-----------------------------

目 的	親子でマジックを習い、家族間のコミュニケーションの一助にさせていただく。
日 程	令和5年1月15日（日） 午前10時から正午まで（小学校低学年） 午後1時から3時まで（小学校高学年）
内 容	マジックの実演と指導
講 師	講師：ノーヴ・ハッセル・アベさん（マジシャン） 補助指導員：池田 亜紀子さん（マジシャン）
場 所	公民館緑分館 学習室A・B・C
参 加 費	1,000円（マジック道具代）
募集方法	市報12月15日号、月刊こうみんかん12月号、ポスター、チラシ、市HP、公民館ツイッター 申込多数のときは抽選 往復はがき、またはメール
対 象	市内在住・在勤・在学の小学生とその保護者
人 数	募集 各回10組20人（合計40人） 応募 35組70人 受講 19組38人（男性19人、女性19人）
担当企画実行委員	大蔵 芳夫
担当職員	山本 ひろみ
参加者感想	○さいしょはむずかしかったけど、すこしずつやっていくとかんたんになってきてたのしかった。（2年生） ○YouTubeとかでマジックをさがすと、同じものでやっているわけでもないし、わからないところを教えてもらえないので、くわしくマジックのやり方を教えてもらって「マジックっておもしろいな」と思いました。（4年生）